

ぎふ長良川の鶺鴒に新たな観覧船が登場

既存の鶺鴒観覧船を改造し、令和4年5月に今までにない3隻の新たな高級観覧船が就航しました



柔らかな間接照明が包む木組みの天井

白月

し
ら
つ
き



白木の「白」。美濃和紙に代表される柔らかな「白」をインテリアデザインの基本に据え、屋形内側には桧や杉材を使用し、柔らかく包まれる白の空間を演出



月の光も入り込むトップライトを備えた天井

藍山

あ
い
や
ま



陽が落ち、夜の帳がおりると広がる漆黒の闇に、川面の深いブルー、金華山の深い黒、そして鶺鴒の身に着ける装束の色など落ち着いた藍の空間を演出



橙、緋色など篝火をイメージした華やかな内観

花篝

は
な
か
が
り



ぎふ長良川の鶺鴒の夜の風景に欠かせない、篝火の色をモチーフにインテリアをコーディネートし、炎の揺らぎをイメージして橙の空間を演出

■ご利用案内

船名	定員	料金
白月	10名	89,400円
藍山	15名	134,100円
花篝		

「闇に溶け込み、呼応する3つの舟」

絵画から着想を得た3色の船
「白」・「藍」・「橙」

高級観覧船3隻は、岐阜市を代表する画家加藤東一氏が描いた「総絡み」で表現された印象的な色彩「闇の中に光る青白い月の光」、「深い藍色の金華山」、「橙や緋色などの篝火」をそれぞれテーマカラーとして内装に用いています。



■高級観覧船の特色

○室内空間

- ・従来の座敷形式でなく、両側にソファ席を配置しており、遮光カーテンにより快適な空間で鵜飼開始までお過ごしいただけます。また、調光可能な間接照明が空間を優しく包みます
- ・従来の観覧船と異なり下足のままご乗船いただけます

○テーブルレイアウト

- ・船内で食事をする場合や食後に乗船する場合など、利用状況に合わせてテーブルのレイアウトを選択することが可能です
- ・船内での食事については持ち込みとなります。旅館やホテルの食事付鵜飼パックの利用のほか、仕出し屋等へ依頼することも可能です ※詳細はぎふ長良川の鵜飼ホームページでご確認ください



〈サイドテーブルレイアウト〉
人数分のテーブル（W65×D40×H65）を両側に配置した、船内で食事をされる場合のレイアウトで中央部に通路があります



〈センターテーブルレイアウト〉
中央部に高さを抑えたテーブルを配置し、空間をより広く演出するレイアウトです。食後に乗船される場合にお勧めです

■高級観覧船の運航方法

○高ポジションでの鵜飼観覧

狩り下り、付け見せに関わらず、乗船日に提供できる最高の鵜飼観覧をお届けします

※狩り下り…観覧船と鵜匠の舟が並走し鵜飼を観覧

※付け見せ…観覧船を河川敷に停泊させその前を通過する鵜匠の舟を観覧

○鵜匠による個別の鵜飼説明

河川敷に停泊中の観覧船で鵜匠が特別に鵜飼説明を実施します

※但し、御料鵜飼日は、適用除外となります

○あがり（漁の片づけ）を鑑賞

鵜飼終了後に鵜匠が漁終いを行う様を間近で鑑賞いただけます

※但し、納涼鵜飼（2回制鵜飼）日の1回目は適用除外となります

○専用タラップでの乗下船

高級船専用のタラップで乗下船いただけます

※河川の水位によっては使用できない場合があります



高級船は鵜飼観覧以外
（例：日中に結婚式会場として）
にも利用できるよ。
詳しくは事務所まで
問い合わせてね。

■高級観覧船の予約方法

①使用する観覧船を決める

3隻ともデザインが異なるため、どの観覧船にするか事前にお選びください

②予約時確認項目を決定し、鵜飼観覧船事務所へ予約してください

予約時確認項目：船名、乗船日、乗船時間、船内での食事の有無、

予約者名、連絡先電話番号、支払方法

〈予約受付〉 予約方法：直接申込み又は電話予約に限ります（先着順）

【予約・お問合せ】 岐阜市鵜飼観覧船事務所

〒500-8009 岐阜市湊町1-2

電話：(058)262-0104 FAX：(058)264-2061

E-mail：ukai-j@city.gifu.gifu.jp

（令和4年5月23日現在）